

各広域振興圏における文化芸術活動支援ネットワークの取組状況について

1 各広域振興圏文化芸術活動支援ネットワーク会議の実施状況

1 概要

県では、岩手県文化芸術振興指針の「4つの主な施策の方向」の一つである、「文化芸術の担い手を支援するネットワークの形成」を図るため、各広域振興圏において岩手県文化芸術コーディネーターを中心としたネットワークづくりのための連絡会議を開催しているもの。

2 開催状況

① 参集範囲

市町村文化行政主管課担当者、各広域振興局等の企画・地域振興担当者、各教育事務所担当者、県及び各市町村芸術文化協会担当者、観光関係団体（県南のみ）、各広域振興圏域内に存在する文化芸術関係団体、文化施設関係者等

② 平成27年度実施状況

圏域・地域	第1回		第2回		
	開催日	参加者数 (除事務局)	開催日	参加者数 (除事務局)	
県央広域振興圏	6月15日(月)	16名	2月2日(火)	10名	
県南広域振興圏	6月9日(火)	16名	2月9日(火)	17名	
沿岸広域振興圏	釜石・大船渡地域	6月12日(金)	7名	1月18日(月)	11名
	宮古地域	6月23日(火)	9名	1月28日(木)	9名
県北広域振興圏	久慈地域	6月26日(金)	8名	1月20日(水)	6名
	二戸地域	6月16日(火)	12名	2月15日(月)	10名
計		68名		63名	

【第2回開催時の主な意見等】

(ネットワーク会議に関すること)

- ・ 前回（第1回目）のネットワーク会議での情報共有を通じて、市町村が実施する文化芸術事業（神楽衣装費用やオーケストラ演奏会の招致支援費）に県（広域振興局）が助成するきっかけとなった。（二戸地域）
- ・ ネットワーク会議を通じて、これまでのホール間中心の関わり合いから、県や県教育事務所など様々な機関と広く関わる事ができた。（久慈地域）

(地域の文化芸術活動に関すること)

- ・ 各公民館等でワークショップや講座を開催し、最終的にホールで発表できるというようなステップアップのイメージがあると受講者、担い手確保につながるのではないかと。（久慈地域）
- ・ 公民館の市民向け講座から活動団体（合唱団、楽団等）へ発展させるような形でリーダー役

等の人材育成も図りたい。(久慈地域)

- ・ 以前、広域の市町村で開催していた郷土芸能祭を復活させたい。(宮古地域)
- ・ 詩吟等の古典芸能の継承について、活動者も危機感をもって対策を考えるべき。(県南地域)

(その他)

- ・ 高齢化・少子化社会において、文化芸術活動の継続・発展は、20～40代の世代の人口確保対策の取組にかかっている。(宮古地域)
- ・ 国体・大会の開催にあたり、観光・文化芸術分野も積極的に関わっていくべき。(県南及び二戸地域)

2 アートマネジメント研修会の開催結果について

1 開催目的

県内各地域において、文化芸術の振興や文化芸術を活かした地域づくりなどに取り組む人材の育成及び相互交流の促進を図るために開催するもの。

2 平成27年度開催状況

(1) 日時

平成27年9月25日(金) 10時30分～16時30分

(2) 場所

もりおか町家物語館 浜藤ホール(盛岡市鉦屋町10-8 TEL:019-654-2911)

(3) 対象者(出席者43名、うち交流会出席25名)

- 県・市町村の文化行政・地域づくり担当職員
- 公立文化施設・観覧施設職員
- 県・市町村芸術文化協会及び会員団体関係者
- その他県内で活動する文化芸術関係団体・地域づくり団体関係者等

(4) 内容

ア 講演:坂田 裕一氏(特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター理事長)

「文化の地産地育」

イ 説明:新田 満氏(特定非営利活動法人芸術工房理事長)

「文化芸術振興に活用できる補助金・助成金とその獲得のポイントについて」

ウ トークセッション

I 「3館連携事業『いわての演奏家とつくる音楽会』に学ぶ」

II 「文化資源を活かした地域づくり～盛岡市鉦屋町における町家・町並みの保存活用による地域活性化～」